

10

高齢者福祉協議会の取組み

平成23年3月11日から平成25年3月10日までの間、高齢者福祉協議会（以下、「高齢協」という。）は様々な復興支援活動を展開しました。

会員施設の被害は、全壊8カ所、半壊1カ所、一部損壊76カ所、公用車流失21台でした。職員の被害は、死亡・行方不明13人、職員の同居家族の死亡55人、職員の住居全半壊303人、職員の自家用車流失148台でした。

職場や同僚、自宅、家族、自家用車を失うという被害を受けながらも、被災地域の高齢者施設役職員は、利用者を支え、地域の避難者を支え続けました。

これに力を与えたのは、県内会員施設の物心両面の協力はもとより、全国各地の高齢者施設から届いた多額の義援金や支援物資、青森、秋田両県老人福祉施設協議会から派遣された多くの応援職員の存在でした。

(1) 災害復興委員会

震災発生から5日後の3月16日に緊急の正副会長会議を開催し、その場で沿岸ブロックの芳賀潤副会長から沿岸部の惨状が報告されました。報告を受け、早急に沿岸地域への職員派遣を進めること、必要な物資を調達し支援すること等を決定しました。

また、沿岸地域の実態把握を行い支援内容の検討を行う災害復興委員会を設置し、様々な課題に対する検討を重ねました。

【開催状況】

第1回復興会議	平成23年4月12日盛岡市
第2回復興会議	平成23年4月26日盛岡市
第3回復興会議	平成23年5月14日一関市
第4回復興会議	平成23年6月10日盛岡市
第5回復興会議	平成23年7月12日盛岡市
第6回復興会議	平成23年8月25日盛岡市
第7回復興会議	平成23年10月26日盛岡市
第8回復興会議	平成24年2月20日盛岡市
第9回復興会議	平成24年5月10日盛岡市
第10回復興会議	平成24年7月6日盛岡市
第11回復興会議	平成24年10月11日盛岡市
第12回復興会議	平成24年12月5日盛岡市
第13回復興会議	平成25年2月18日盛岡市
※全老施協第2回被災地復興委員会を平成23年12月19日に盛岡市にて開催。	

(2) 被災地訪問

震災直後から、正副会長や災害復興委員会委員を中心に沿岸地域を訪問し、被災状況や復旧状況を確認してきました。現地で施設職員から聞き取りを行ったうえでニーズを把握し、迅速かつ継続的な支援活動につなげました。

① 高齢協会長、全老施協事務局長による被災地訪問

【日 時】平成23年3月22日

【対応者】3名（渡辺会長、全老施協福岡事務局長、全

【高齢者福祉協議会・災害復興委員会委員名簿】※平成25年1月1日時点

No.	氏名	所属・役職	備考
1	渡辺 均	特別養護老人ホームさくらの郷 施設長	高齢協会長
2	熊谷 茂	特別養護老人ホーム明生園 施設長	高齢協副会長
3	高橋 勝	特別養護老人ホーム千年苑 施設長	高齢協副会長
4	芳賀 潤	社会福祉法人堤福社会 総合施設長	高齢協副会長
5	野田信雄	特別養護老人ホーム久慈平荘 施設長	高齢協副会長
6	西村健一	特別養護老人ホームさんりくの園 総務課長	被災施設（全壊）
7	久保喜雅	養護老人ホーム五葉寮 施設長	被災施設（半壊）
8	佐々木晃	特別養護老人ホーム高寿園 事務主任	被災施設（一部損壊）
9	高橋昌弘	養護老人ホーム松寿荘 施設長	養護老人ホーム部会代表
10	大内文章	特別養護老人ホーム福光園 副園長	21世紀委員会代表

老施協事務局員)

【訪問先】 宮古市、山田町

② 全老施協の訪問への同行

—第1回—

【日 時】 平成23年4月2日～3日

【対応者】 3名(渡辺会長、熊谷副会長、右京部長)

【訪問先】 岩手県、宮城県の被災施設

※全老施協出席者3名(中田清会長、中村博彦常任顧問、熊谷和正常務理事)

—第2回—

【日 時】 平成23年12月20日

【対応者】 4名(渡辺会長、熊谷副会長、高橋副会長、野田副会長)

【訪問先】 社会福祉法人三陸福祉会、特別養護老人ホームらふたあヒルズ、養護老人ホーム五葉寮

※全老施協出席者(中田清会長、中村博彦常任顧問、熊谷和正常務理事他)

③ 被災した会員施設への訪問

—第1回—

【日 時】 平成23年5月13日

【対応者】 8名(正副会長5名、事務局3名)

【訪問先】 養護老人ホーム五葉寮、特別養護老人ホームさんりくの園、特別養護老人ホーム富美岡荘、特別養護老人ホーム高寿園

—第2回—

【日 時】 平成23年10月11日

【対応者】 5名(熊谷副会長、高橋副会長、野田副会長、事務局2名)

【訪問先】 養護老人ホーム五葉寮、特別養護老人ホームさんりくの園

—第3回—

【日 時】 平成24年8月10日

【対応者】 6名(渡辺会長、熊谷副会長、高橋副会長、芳賀副会長、事務局2名)

【訪問先】 養護老人ホーム五葉寮、特別養護老人ホームさんりくの園

【内 容】 移転改築に係る要望書について

④ 復興委員、事務局による訪問(全壊施設の現地調査、被災施設の再建状況確認等)

—第1回—

【日 時】 平成23年6月24日

【対応者】 2名(大内委員、事務局・田代)

【訪問先】 特別養護老人ホーム心生苑、宮古市磯鶏老

人福祉センター、小規模多機能型センターやすらぎ、大槌町内仮設住宅

—第2回—

【日 時】 平成23年8月8日

【対応者】 2名(大内委員、事務局・田代)

【訪問先】 赤崎町デイサービスセンター、大船渡市老人福祉センター、社会福祉法人三陸福祉会

⑤ 職員見舞金目録の贈呈

—第1回—

【日 時】 平成23年7月11日

【対応者】 2名(高橋勝副会長、高橋昌弘幹事)

【訪問先】 養護老人ホーム清寿荘、特別養護老人ホームサンホームみやこ、特別養護老人ホーム紫桐苑、特別養護老人ホーム慈苑、宮古市千徳デイサービスセンター、愛福祉会デイサービスセンター、おもえ小規模多機能支援センター、宮古市金浜老人福祉センター、特別養護老人ホーム平安荘、社会福祉法人親和会

—第2回—

【日 時】 平成23年7月13日

【対応者】 3名(野田信雄副会長、三戸明裕幹事、事務局・田代)

【訪問先】 特別養護老人ホームふれあい荘、特別養護老人ホーム百楽苑、特別養護老人ホーム寿生苑、特別養護老人ホームリアス倶楽部、特別養護老人ホーム和光苑、宇部地区デイサービスセンター、特別養護老人ホームうねとり荘、特別養護老人ホームことぶき荘

—第3回—

【日 時】 平成23年7月14日

【対応者】 2名(渡辺均会長、小原敏弥幹事)

【訪問先】 特別養護老人ホームまえさわ苑、特別養護老人ホーム遠野長寿の郷、特別養護老人ホームらふたあヒルズ、デイサービスセンターはまぎく、養護老人ホーム五葉寮、特別養護老人ホームアミーガはまゆり、特別養護老人ホーム仙人の里、特別養護老人ホームあいぜんの里、特別養護老人ホームすみた荘

—第4回—

【日 時】 平成23年7月19日

【対応者】 2名(熊谷副会長、菅原敏雄幹事)

【訪問先】 養護老人ホーム東山荘、特別養護老人ホームソエル花泉、特別養護老人ホーム千寿荘、特別養護老人ホーム寿松苑、特別養護老人

ホーム富美岡荘、特別養護老人ホームさんりくの園、介護老人福祉施設ひまわり、特別養護老人ホーム高寿園

(3) 復興支援活動

① 義援金募集、配分

平成23年4月22日から高齢協としての県内義援金の募集を開始しました。6月30日時点の会員施設からの義援金総額は9,008,680円となり、災害復興会議で検討した結果、津波で流失した公用車の支援と職員・施設への見舞金に充当しました。

また、全国老人施設協議会をはじめとする関係団体からの義援金の配分は次のとおりです。

●第一次配分：総額8,280,000円（職員への見舞金）

	区 分	対象者	見舞金額
職 員	死亡	8名	30,000円
	行方不明	5名	30,000円
	負傷（軽傷を除く）	3名	10,000円
	家族死亡（同居の配偶者・親・子）	55名	10,000円
住 居	全壊（世帯主）	71名	30,000円
	全壊（世帯主以外）	213名	20,000円
	半壊（世帯主）	19名	10,000円
	半壊（世帯主以外）	73名	10,000円

●第二次配分：総額32,830,000円

【被災施設への見舞金】 10,600,000円

区分	対象施設	見舞金額
全壊	8施設	800,000円
半壊	1施設	500,000円
一部損壊	76施設	50,000円

※一部損壊施設のうち、2施設は辞退。

【職員への見舞金】 22,250,000円

	区分	対象者	見舞金額
職 員	負傷	3名	30,000円
	家族死亡（同居の配偶者・親・子）	55名	30,000円
住 居	全壊（世帯主）	71名	100,000円
	全壊（世帯主以外）	213名	50,000円
	半壊（世帯主）	19名	30,000円
	半壊（世帯主以外）	73名	30,000円

② 県知事への要望書の提出

被災した施設は一刻も早い復旧を強く望んでいたため、平成23年5月9日、保健福祉部長に復興に関する要望書を提出しました。内容は、「臨時の高齢者福祉施設の緊急整備」「職員用仮設住宅の整備」「施設復



興に向けた建設用地の確保」「激甚災害法による財政援助」等です。

③ 中村博彦参議院議員（全国老人福祉施設協議会常任顧問）への要望書の提出

全半壊した施設の移転改築の協議が1年5ヵ月を経過しても進展が見られないため、社会福祉法人三陸福祉会、社会福祉法人愛恵会の移転改築に係る要望書を、全国老人福祉施設協議会常任顧問である中村博彦参議院議員に提出しました。

現状を重く受け止めた中村顧問の働きかけにより、移転改築の協議はその後順調に進み、2法人は再建に向け法人一丸となって準備を進めています。

【面会日】平成24年8月22日

【場 所】ホテルニューオータニ

【面会者】渡辺均会長、熊谷茂副会長、野田信雄副会長、社会福祉法人三陸福祉会2名、社会福祉法人愛恵会2名、事務局・田代

④ 職員派遣

ライフラインが遮断された状況の中、沿岸の施設は地域の中核施設として被災した高齢者や地域住民の受け入れに尽力しました。これに伴い職員不足が顕著であったため、3月19日から応援職員の派遣を開始しました。

派遣した施設や避難所は9ヵ所。

県内の会員施設のほか、青森県老人福祉協会及び秋田県老人福祉施設協議会の会員施設からも多大な協力を頂きました。

●派遣職員数：延べ1,752名(県内828名、県外924名)

●派遣期間：平成23年3月19日～10月3日まで

●派遣先施設等

- 1 特別養護老人ホーム三陸園(大槌町)
- 2 特別養護老人ホームらふたあヒルズ(大槌町)
- 3 特別養護老人ホーム富美岡荘(大船渡市)
- 4 特別養護老人ホーム高寿園(陸前高田市)
- 5 特別養護老人ホームあいぜんの里(釜石市)
- 6 特別養護老人ホームふれあい荘(宮古市)
- 7 大槌町デイサービスセンターはまぎく(大槌町)
- 8 釜石市老人福祉センター(釜石市)
- 9 釜石市ふれあい交流センター(釜石市)

また、平成24年6月からは長期派遣(出向扱い)に切り替え、職員派遣を実施しています。

【派遣先】特別養護老人ホームらふたあヒルズ(大槌町)

【派遣元①】特別養護老人ホーム久慈平荘(介護職員1名)

・平成24年6月1日～平成25年3月31日／10ヵ月(予定)

【派遣元②】特別養護老人ホーム富士見荘(介護職員2名)

・平成24年6月1日～平成24年8月31日／3ヵ月

・平成24年9月1日～平成25年3月31日／7ヵ月(予定)

【平成24年度の派遣に係る助成】

●派遣元施設への助成

600,000円(3万円×10ヵ月×2施設)

●派遣職員個人への助成

400,000円(2万円×10ヵ月×2名) ※食費相当。

●派遣先施設への助成 388,754円

※派遣職員のための家電製品等購入費用(2施設分)

⑤ 車両支援

① 公用車

高齢協義援金を活用し三陸福祉会と愛恵会に対し計6台を助成しました。助成金額306万円。

また、全老協から被災施設へ新車の軽自動車14台、社会福祉法人健祥会から被災施設へ新車の軽自動車1台を寄贈頂きました。

他にも入浴車3台、ワゴン車2台、軽自動車5台を寄贈頂きました(提供元：青森県老人福祉協会会員、特別養護老人ホーム聖愛園、特別養護老人ホーム千年苑、北海道在住の個人)

② 職員の個人車

岩手県中古自動車販売協会に特別割引の要望書を提出したほか、関係団体・個人等からの寄贈については無償譲渡の手続きを進めました。

⑥ 物資提供

被災施設に対し、義援金を活用し、紙オムツやレトルト食品、書籍等を提供しました。

⑦ 被災施設への助成金(機材、消耗品)

機材や消耗品等の購入費用として、被災施設からの申請に基づき助成金を支給しました。

⑧ 要援護者に対する入浴支援

県から高齢協が委託を受け、移動入浴車や施設を利用し、避難所生活を送る要援護者や在宅の要援護者に対し入浴支援を実施しました。

【実施期間】平成23年5月28日～8月31日

【再委託先】三陸福祉会(大船渡市)、愛恵会(釜石市)、堤福祉会(大槌町)

【提供人数】延べ310名

●5月実績：延べ28名／委託料231,220円

●6月実績：延べ172名／委託料1,558,630円

●7月実績：延べ99名／委託料887,940円

●8月実績：延べ11名／委託料111,480円

⑨ 沿岸施設職員に対するリフレッシュ事業

沿岸施設の職員に対して、心身の疲れを癒していたることを目的に実施しました。

宿泊プランは被災地を離れる機会がない職員にとっては、貴重な時間となったようです。また、出張マッサージは、家庭の事情等で宿泊プランに参加できない職員に非常に好評でした。

① 宿泊リフレッシュ

宿泊プラン(ホテル森の風鶯宿)：86名

	期 日	参加者
第1回	平成23年9月27日～28日	6名
第2回	平成23年10月13日～14日	22名
第3回	平成23年10月31日～11月1日	31名
第4回	平成24年8月29日～30日	10名
第5回	平成24年9月26日～27日	17名

宿泊プラン（ダイワロイネットホテル盛岡）：16名

	期 日	参加者
第1回	平成23年10月11日～12日	6名
第2回	平成23年11月14日～15日	10名



① 出張マッサージ：140名
アロママッサージ（32名）

	期 日	派遣先	施術人数
第1回	平成23年9月9日	社会福祉法人三陸福祉会	8名
第2回	平成23年10月10日	特別養護老人ホームあいぜんの里	8名
第3回	平成23年11月11日	養護老人ホーム五葉寮	8名
第4回	平成23年12月12日	社会福祉法人三陸福祉会	8名

整骨（144名）

	期 日	派遣先	施術人数
第1回	平成23年10月10日	特別養護老人ホームふれあい荘	12名
第2回	平成23年10月23日	特別養護老人ホーム紫桐苑	12名
第3回	平成23年11月3日	特別養護老人ホーム仙人の里	12名
第4回	平成23年11月23日	特別養護老人ホーム慈苑	12名
第5回	平成23年11月27日	おもえ小規模多機能支援センター	12名
第6回	平成24年9月23日	特別養護老人ホーム百楽苑	12名
第7回	平成24年10月14日	養護老人ホーム五葉寮	12名
第8回	平成24年10月17日	特別養護老人ホームさんりくの園	12名
第9回	平成24年10月21日	特別養護老人ホーム慈苑	12名
第10回	平成24年11月4日	特別養護老人ホームサンホームみやこ	12名
第11回	平成24年11月11日	特別養護老人ホームふれあい荘	12名
第12回	平成24年11月18日	おもえ小規模多機能支援センター	12名

施設手配によるマッサージ、整骨（117名）

	期 日	派遣先	施術人数
第1回	平成23年10月12日	特別養護老人ホームアミーガはまゆり	12名
第2回	平成23年11月8、9日	特別養護老人ホームらふたぁヒルズ	12名
第3回	平成23年11月15、16日	特別養護老人ホーム三陸園	12名
第4回	平成23年11月14、25日	在宅複合型施設ゆうらっぷ	12名
第5回	平成24年10月26日	特別養護老人ホームアミーガはまゆり	24名
第6回	平成24年11月1日～22日	特別養護老人ホーム三陸園	15名
第7回		在宅複合型施設ゆうらっぷ	15名
第8回		特別養護老人ホームらふたぁヒルズ	15名

東日本大震災の津波被害により、県内の養護老人ホームに措置替えとなった五葉寮の利用者と職員との再会の場を設け、交流することを目的に開催しました。久しぶりの再会を喜んでいる姿が印象的でした。

【日 時】平成23年10月5日、10:30～14:00

【会 場】ホテル花巻

【参 加 者】80名（五葉寮利用者41名、施設職員等39名）

【費用助成】428,874円（昼食代、アトラクション謝礼、利用者土産代）

⑪ 職員の慰労を目的とした行事等への助成

忘年会や職員旅行等を開催した場合に、その費用の一部を助成しようと計画した活動であり、多くの施設が活用しました。

平成23年度

対象施設：28施設、助成金額：2,276,700円

平成24年度

対象施設：24施設、助成金額：1,767,300円



⑫ 東日本大震災記録集及び災害支援マニュアルの作成

東日本大震災の被害状況及び支援の記録をまとめるとともに、災害発生を想定した連携・支援体制等に関するマニュアルを作成するため、検討委員会を設置し検討しました。記録集は平成25年3月に完成。支援マニュアルは平成25年度に作成予定です。

記録集仕様

A4判215ページ(うち16ページカラー)、印刷部数800部

第1回検討委員会 平成24年6月7日(木)盛岡市

第2回検討委員会 平成24年8月2日(木)盛岡市

第3回検討委員会 平成24年10月31日(水)盛岡市

第4回検討委員会 平成24年12月3日(月)盛岡市

第5回検討委員会 平成25年1月23日(水)盛岡市

第6回検討委員会 平成25年2月25日(月)盛岡市

第7回検討委員会 平成25年3月25日(月)盛岡市

特別養護老人ホーム久慈平荘 生活相談員 野田 大介

私は岩手県北地区老人施設協議会の被災地派遣のメンバーの一員として、釜石市の福祉避難所に支援に行きました。20人程度の在宅高齢者が避難しており、支援するヘルパーさんも被災者、支援される高齢者も被災者という特異な環境に私たちは入ることになりました。話を聴いて共感するという心のケアを私たちは行ってきました。

この支援を通して考えさせられたことは、支援チームの構成です。ケアができる介護職、支援先の調整や支援の必要度をアセスメントできるソーシャルワーカー、必要に応じて医療的処置・判断を下すことができる看護職を、ひとつのチームとして派遣することが求められると考えます。その上でチームを導くリーダーを育成し、リーダーの下で各専門職が連携して、機能することが次の大震災の時には求められています。

今回の大震災で得た教訓を活かし、次の大震災に備えることが、私たちがやらなくてはならないことであり、その対応が急がれる状況にあります。

